

# 一 般 質 問 要 綱

令和2年第8回12月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	19	後藤 誠 司	<p>1 全国市町村交流レガッタ開催に向けた課題について</p> <p>先日の全員協議会において、令和6年度全国市町村交流レガッタの開催地に本市が内定したという説明がありました。全国大会の規模を想定しますと、県営荻野漕艇場の現状には課題もあると考え、以下の点を伺います。</p> <p>(1) 栈橋の対応について伺います。</p> <p>現在、4つの栈橋がありますが、配艇を考えた場合不足するのではないか。</p> <p>(2) 選手団、応援団の控え場の確保について伺います。</p> <p>(3) 老朽化している艇の更新について伺います。</p> <p>(4) 駐車場について伺います。</p> <p>(5) 宿泊地と開会式レセプション会場について伺います。</p>
			<p>2 新型コロナウイルス感染症の影響と対応について</p> <p>(1) 本市の感染者数12名の分析について伺います。</p> <p>ア 会津医療センタークラスターの割合について</p> <p>イ 9月6日から9月23日まで感染時期が集中した点について</p> <p>(2) 個人市民税、法人市民税、固定資産税について、減免・猶予の件数と金額を伺います。</p> <p>(3) 国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免・猶予の件数と金額を伺います。</p> <p>(4) ふるさと出身学生応援事業の進捗を伺います。</p> <p>(5) “喜多方の魅力再発見”泊まってみんなべえキャンペーン事業の進捗について伺います。</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染症による各種検診の変更内容と影響について伺います。</p> <p>ア 特定健診の変更内容と現在までの受診者数と受診率について</p> <p>イ 各種がん検診の変更内容と影響について</p>
2	14	齋藤 仁 一	<p>1 新年度市政運営について</p> <p>(1) 新年度の予算編成方針について伺いたい。</p> <p>(2) 財源確保と財政運営をどうするのか伺いたい。</p> <p>(3) 新市建設計画及びそれに準ずる計画についてどのように進める考えか伺いたい。</p>
			<p>2 小中学校適正規模適正配置について</p> <p>(1) 小中学校適正規模適正配置審議会ではどのような協議がなされ、方向性が決まったのか伺いたい。</p> <p>(2) 教育委員会及び総合教育会議でどのような協議がなされ、方向性が決まったのか伺いたい。</p> <p>(3) 小中学校適正規模適正配置に関する検討特別委員会審査報告を協議検討したのか伺いたい。</p>
			<p>3 有害獣対策について</p> <p>(1) 今年度の地区別の有害獣捕獲頭数及び有害獣による農作物被害状況と、昨年度比でどうなっているのか伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(2) 集落診断、電気柵の貸出し及び補助の実態はどうだったのか伺いたい。</p> <p>(3) このような実態を受け、市としての新年度の対策をどうするのか伺いたい。</p> <p>(4) 森林を活用した林業の衰退も一因であるが、市の対応と対策について伺いたい。</p> <p>(5) 気候温暖化、気象変動が影響しているが市の対応と対策について伺いたい。</p>
3	21	山口和男	<p>1 昭和電工(株)喜多方事業所の土壌及び地下水調査について</p> <p>2019年の土壌汚染対策法の改正により、今年度(2020年)昭和電工(株)喜多方事業所全域の土壌調査及び敷地境界地下水調査の結果、事業所の広範囲で土壌のフッ素濃度が基準値を超えていることが分かりました。また、同事業所敷地境界において、複数の観測地点で地下水のフッ素濃度の基準値超過が分かりました。さらに一部では、シアン「2箇所」、ヒ素「2箇所」、ホウ素「1箇所」の地下水基準値超過も分かりました。</p> <p>今回の調査でフッ素は基準値の120倍、シアンは5倍、ヒ素は3.1倍、ホウ素は1.4倍との報告もありました。これらの対策として、汚染地下水を汲み上げて処理し、排水基準に適合させた上で排出をし、効果をより確実にするために敷地の全周にわたり遮水機能を有する粘土層まで達する壁で囲い、地下水の敷地外への拡散を防止すると言うものです。</p> <p>このことから以下の点について伺います。</p> <p>(1) 今後、県及び市により同事業所周辺地域の地下水飲用利用状況について調査を行うと言うことですが、この地下水は北北東から南南西に流れている地下水流向と言われます。汚染地下水がその方向に流れている中で下流250m以内の調査だけで住民に対して安全と言えるのか伺います。</p> <p>(2) 遮水壁を造ることで、有害物質4種類からの健康被害を防止できると言えますか伺います。</p> <p>(3) この遮水壁を造ることによって、地下水を利用している家庭に影響は及ぼさないと言えるのか伺います。</p> <p>2 V-Lowマルチメディア放送事業について</p> <p>V-Lowについては、8億9,000万円の事業費を費やしたにもかかわらず、FM東京の事業からの撤退により本市のこの事業は完全に失敗をしました。</p> <p>このことから以下の点について伺います。</p> <p>(1) 国の政策に追随をし、このような結果を招いた市の責任は大であります。市長にはこの行為の結果に関して法的・道義的責任があると思料されます。このことに対して応答、対処する義務をどのようにお考えなのか伺います。</p> <p>(2) 賠償については、V-Lowに係る全員協議会にて考えていくと述べられましたが、経過を聞けば今交渉中とのこと。その後の進捗はどうなっていますか伺います。</p> <p>(3) この賠償問題は進め方が逆だと考えます。まず、本市として損害額</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>を確定して全員協議会等で議員の了解をとった上で、確定額を賠償請求裁判に持ち込むことを優先させるべきであると考えますが伺います。</p> <p>(4) V-Lowに代わる新しい方式が示されました。FMきたかたをV-Lowの代替策としたり、令和4年11月末で終了する熱塩加納地区、山都地区、高郷地区も一緒に変えていく案であったりして、一人歩きの様相を呈しています。</p> <p>しかし、その事業費はまだ誰一人として知らされていません。V-Lowマルチメディア放送が頓挫した今は、それに対する市の責任や賠償問題の後で、新規事業としてその新しい方式が必要か否かを決するべきと考えますが伺います。</p> <p>3 法人に対する行政財産使用料の取扱いについて</p> <p>市が関わる法人は何社あるのか定かではありませんが、知っている中で6社について伺います。福寿会、社会福祉協議会、ふるさと振興株式会社、喜多方市民活動サポートネットワーク、体育協会、観光物産協会はいずれも使用料を徴収する契約は締結していないと思います。</p> <p>市が法人に市有施設を貸し付けて無償でいることは理解できません。説明を求めます。</p>
4	4	十二村秀孝	<p>1 水田農業のあり方について</p> <p>本市の農業生産額の約7割を占める米は、人口減少、更にはコロナ禍で外食需要の減少が加わり、令和3年産米の需給バランスを確保するためには、令和2年産米の生産量から30万トン以上の減産が必要な状況にあり、これは過去最大規模の減産となります。</p> <p>そこで次の4点について伺います。</p> <p>(1) 次年度の米作付けに対する基本姿勢について伺います。</p> <p>(2) 米の生産コスト低減に向けた進め方について伺います。</p> <p>(3) 国内需要が増加傾向にあり、自給率向上につながる麦や大豆などの土地利用型作物の生産振興に向けた進め方について伺います。</p> <p>(4) 本市の水田農業を支える担い手の育成・確保に向けた進め方について伺います。</p> <p>2 今後の観光振興について</p> <p>星野リゾートの星野代表は、コロナ禍における感染拡大予防と地域経済活性化を両立する観光を目指すため、車で1時間程度の地域エリアの観光を推進するマイクロツーリズムを提唱しております。</p> <p>そこで次の3点について伺います。</p> <p>(1) 旧市町村ごとのラーメン店の店舗数について伺います。また、その内喜多方老麺会に加入している店舗数について伺います。</p> <p>(2) 本市の代名詞ともいえる喜多方ラーメンを更に知ってもらい観光振興を図るため、市自ら市内ラーメン店全店舗が掲載された喜多方ラーメンパンフレットを作成する考えはないのか伺います。</p> <p>(3) 本市は山形県置賜地域や花でつながる観光交流宣言を締結した新潟市との連携による観光や地域振興を進めておりますが、これまでの</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			取組内容と成果、更には今後の展望について伺います。
5	3	山口文章	<p>1 市内の工業振興について</p> <p>本市では、喜多方市総合計画において、本市の将来の都市像である「力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」を実現するため、まちづくりの施策の基本方向のひとつとして「地域の特性を生かした力強い産業づくり」を掲げて、「喜多方市工業振興ビジョン」をもとに重点施策を行っています。しかし、現在の本市の製造業は、コロナ禍により多大な影響を受けています。景気動向が業種により違いがあるものの、まだまだ見通しできない状況です。今後の経済の動向によっては、悪化することも予想されます。これらの状況を踏まえて、本市の工業振興に対しどのように考え、現状及び今後の対応について3点伺います。</p> <p>(1) 本市での工業を取り巻く現状について</p> <p>ア 過去3年間の本市における製造業事業所数の推移について伺います。</p> <p>イ 過去3年間の新規高卒者の市内就職率の推移について伺います。</p> <p>(2) 喜多方市工業振興ビジョンについて</p> <p>ア 統計データ、アンケート、ヒアリングなどにより調査、分析した本市の工業の現状（SWOT分析）について伺います。</p> <p>イ 本市の工業が抱える課題に対する基本方針と重点施策の内容を伺います。</p> <p>ウ ビジョンには重点施策がありますが、各施策の重点事業の実績について伺います。</p> <p>エ 重点事業のほかに、関連性がある事業を関連事業としてありますが、その事業の種類、内容について伺います。</p> <p>オ ビジョンには喜多方市工業の5年後の姿について記載してありますが、計画期間が約1年半経とうとしています。現在の状況を見てどのように捉えているか伺います。</p> <p>(3) 本市でのコロナ禍における工業の現状について</p> <p>ア 市内でのコロナウイルス感染症拡大に伴う影響調査、及び景気動向等調査結果を伺います。</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染症経済対策の実施状況について伺います。</p> <p>ウ 日本全国で、コロナ禍が原因での解雇が7万人以上になっていますが、本市の工業に係る解雇の実態について伺います。</p> <p>エ 今後のコロナ禍での本市の更なる支援策の検討について伺います。</p> <p>2 体育専門アドバイザーについて</p> <p>福島県では、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクトのサポート事業で「小学校体育専門アドバイザー派遣事業」を行っております。</p> <p>福島県内、地区ごとにアドバイザーがおり、小学校からの派遣依頼によって来校し、1日学校内で体育授業指導支援、業間・昼休み・放課後における支援、体力向上推進についてのサポートなど様々な支援を行っています。小学校体育専門アドバイザーに関して2点ほど伺います。</p> <p>(1) 小学校体育専門アドバイザー派遣について</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>ア 本市の小学校での過去3年間の派遣実績について伺います。</p> <p>イ 支援やサポート等を受けて、児童の反応・感想など伺います。</p> <p>(2) 今後の市としての支援について</p> <p>ア 県のアドバイザー派遣事業では、現在会津地区1名で対応していますが、それで対応できていると思うか市の考えを伺います。</p> <p>イ この支援は児童の体力向上、健康維持等に結びつくと思いますが、この支援は小学校が対象となっています。市内全体で幼保、小学校、中学校と連携できる別な形での市独自のアドバイザーを設置して取り組むべきと考えますが、伺います。</p>
6	6	小島雄一	<p>1 小中学校ICT教育推進事業について</p> <p>コロナ禍の影響は学校に思わぬ効果をもたらし、小中学校では児童生徒1人1台のタブレット端末等が配布され、Wi-Fi環境が整備されて学校に一気にIoT技術が導入されることになりました。高性能のデジタル端末を有効に活用し、子供達の教育に大きな効果を上げることが期待されるようですが、まずは配布ありきで、その活用法や使用規範の整備はこれからなされていくと思えます。</p> <p>また、文科省はこの夏、中学校へのスマートフォンの持込みを条件付で可能と通達を出しました。スマホは非常に便利な機器であり、私達の生活になくてはならないものとなっています。しかし、便利さと同時にネガティブな側面があります。SNSの危険性、ゲームやネット依存症が促進される心配があります。メリットだけでなく、デメリットもあることを伝えなければならないと思います。</p> <p>そこで以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 配布される端末には、どのようなアプリがインストールされるのか伺う。</p> <p>(2) 教師用の指導要領や使用規範の中にデメリット対策が入るか伺う。</p> <p>(3) スマートフォンの学校持込みをどうするか伺う。</p> <p>(4) オフスクリーン運動を今後どのように進めるか伺う。</p> <p>2 地域の医療体制について</p> <p>医療法人昨雲会の山都診療所が、来年の3月末日をもって閉院する。山都地区にあっては、歯科医院1軒と共に唯一の内科診療施設であった。それがなくなってしまうことは地区住民に大きな不安を与えている。さらに、高郷地区にも医療施設がなくなっていることを考えると、人口減少とコロナ禍の中、本市全体の地域医療体制の再整備が必要と考える。市の考えを伺う。</p> <p>(1) 山都診療所閉院に至る経緯を伺う。</p> <p>(2) 山都・高郷の地域医療体制をどのようにするか伺う。</p> <p>(3) コロナ禍の本市の医療体制に対する影響と対策を伺う。</p> <p>(4) 医療人材の確保対策を伺う。</p>
7	20	佐原正秀	<p>1 新型コロナ禍による公共施設利用料金の大幅減少対策について</p> <p>新型コロナウイルスは世界的に蔓延し、いつ、どこで、誰が感染するか、分からない、見えない脅威が拡大しております。新型コロナウイルス</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>スに感染したかどうかにかかわらず、今回のパンデミックが引き起こした事態からは誰も逃げる事ができず、私たちにとってもこれが初めての体験であり、何が正しいのか分からず、他人がどうコロナ禍と向き合ったかを知ることは大きな意義があるものと思われま</p> <p>このような中、本市では、今年1月29日に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、市独自の感染防止対策や市民・事業者への支援等、素早い対応は一定の評価ができるものであります。</p> <p>しかし、9月6日に初めて喜多方市民が新型コロナウイルス検査で陽性が確認されるなど、全国的にも収束の見通しが立たない状態にあります。また、市では感染防止のために密を避け、イベントの休止やゴールデンウィーク前後の期間には公共の施設を休館するなど、感染防止策に努めてきたところであります。</p> <p>については、新型コロナウイルス感染症対策で指定管理による公共施設利用料金の状況と今後の対策について、次によりお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 公共施設の利用料金が減少した施設名について</li> <li>(2) 入込数及び利用料金の減少額について</li> <li>(3) 公共施設の利用料金が減少している市の対策について</li> <li>(4) 各施設の複合感染防止対策について</li> <li>(5) 公共施設利用率拡大に向けた対策について</li> </ol>
			<p>2 先輩ママの家庭訪問支援事業の取組について</p> <p>妊娠中や子育て中、誰かにちょっと手を貸して欲しいときや、誰かに話を聞いてほしいときがあるものです。なんで泣いておるのか分からない、どうしても寝てくれないのでイライラする。気がついたら一日中、誰とも話をしていない、話し相手が欲しいなど、また、近くの公園や広場に行ってみたいが、一人で行くのはとのためらいなど、誰もが経験するものであります。妊娠中・子育て中のママをサポートし、先輩ママのボランティアが、あなたのお宅を訪問したら大変嬉しく思いますが、こんなふうに感じることはありませんか。</p> <p>そこで、これらの家庭訪問支援事業の取組の現状と、今後の本市の対応についてお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 育児サークル支援事業の現状について</li> <li>(2) 子育てサポーターの人材育成について</li> <li>(3) 育児情報の提供体制について</li> <li>(4) 子育て支援施設の立ち上げについて</li> <li>(5) 先輩ママの家庭訪問支援事業の取組について</li> </ol>
			<p>3 子供達の肥満解消と食育対策について</p> <p>福島県の肥満傾向児の出現率は全国平均を上回る状況が続いていると言われております。子供の肥満は、運動能力の低下や将来の健康にも影響を及ぼすことから、その解消や予防が極めて重要であります。子供達が正しい食習慣を身に付けることにより、肥満や生活習慣病を予防するため、専門家による食育指導や食に関する体験活動など、今後も、家庭・学校・地域が一体となった食育活動を通して、子供達が健やかに成</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>長できるよう努めていかなければならないと考えますが、これらの対策についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 本市の子供の肥満出現率の実態について</p> <p>(2) 肥満対策の必要性について</p> <p>(3) 食育の取組について</p> <p>(4) ふるさとの農林漁業体験支援事業の参加について</p> <p>(5) 栄養教諭の未配置学校の対応について</p>
8	18	伊藤 弘明	<p>1 地元産極上牛肉の流通について</p> <p>(1) 地元産の美味しい物を地元で食べられない不条理をどう考えるのか。</p> <p>(2) 極上の地元産牛肉が、地元で恒常的に流通できない理由は何か。</p> <p>(3) 恒常的な流通を可能にするにはどうしたらいいか。</p> <p>2 専門学校の誘致について</p> <p>喜多方市から若者が流出してしまうと嘆いてばかりいないで、他から若者を招くという政策を具現化するべきだと思うが、どう考えるのか。</p> <p>3 市民の理解のもとスローガンを掲げ、全市民を巻き込んだ運動を展開してみてもどうか</p> <p>(1) 総合計画や人口ビジョンなどに計画される市民のための具体的な政策の実現に向けた努力をもっとすべきと思うが、どう考えるのか。</p> <p>(2) 全市民の福祉の向上をはじめとした大きな目標を設定し、市民を巻き込んだ運動を展開すべきと考える。例えば、「延ばせ！平均寿命、健康寿命」、「増やそう！子供達、未来のために」等は、運動を展開しやすいと思うがどう考えるのか。</p>
9	12	長澤 勝幸	<p>1 市街地におけるクマ出没対策について</p> <p>(1) 市街地に出没したクマへの対応について</p> <p>ア 本年度の出没状況と前年度の比較、「ツキノワグマ等市街地等出没緊急対応マニュアル」が作成されたが、市街地としての出没状況と対応の考え方の主なポイントはどのようなものか。</p> <p>イ 鳥獣被害対策実施隊は、農業用フォークを持って先頭に立って捜索に当たるとされる。実施隊としてどう身を守るのか、対応は適切であったのか。また、現場での指揮命令はどのようなものか。市街地での銃所持、発砲許可はどのように行われるのか。</p> <p>ウ クマ目撃の通報を受け、喜多方警察署が警戒する中で襲われ、ケガをしたが、初動対応として適切であったのか。また、学校等での登下校時の対応で、第一報が遅いと指摘もあったが、特に小・中学校、保育所、放課後児童クラブ、私立幼稚園などへの連絡は滞りなく行われたのか。</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊の今後の課題について</p> <p>ア 関係者によれば市街地にクマが出没することは想定外だと言われている。「ツキノワグマ等市街地等出没緊急対応マニュアル」が作成されたが、実施隊員に周知されているのか。また、今回のことで見直しする箇所及び関係実施隊と協議する考えはあるのか。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>イ 今回の出動で猪苗代から麻酔銃の資格を有する方が招集されたとある。緊急性や地理的熟度なども鑑み、本市の実施隊の中での所有も必要と考えるがどうか。</p> <p>ウ 実施隊には年報酬として分隊長が8万円/年、隊員6万円/年である。要請に基づき出動した隊員に危険手当もなく、月一回以上のパトロールと報告、ワナを掛ければ法に基づき毎日巡回するなど大きな負担になっている。市からの委嘱も受け重要な役割を担っている。他市の事例も参考に処遇改善が必要と考えるがどうか。</p> <p>エ 狩猟免許は市の助成もあり取得しやすいが、そのあとの維持管理、さらに市からの委嘱による実施隊への登録は、狩猟免許と狩猟者登録を持ち、保険に加入することが条件になるなどが金銭的に大きな負担になっている。何らかの対応がないと継続が難しいとの声があるが、どう対応するのか。</p> <p>オ 実施隊員間での連絡体制の整備がされていないようだが、今後、連絡網などを作成する考えはあるか。</p> <p>(3) 今後の有効な対応について</p> <p>ア 今後の市街地出没時の市民への安全、実施隊のより安全なクマの搜索活動方法として赤外線ドローンを活用し上空からクマの輪郭が確認できる方法が安全で有効と言われるがどう考えるか。また、森林の中の搜索で安全確保のために赤外線スコープが有効な方法として活用の要望があるが、各隊にも配備してはどうか。</p> <p>イ 実施隊に、クマを撃った経験者が少ないと言われている。現在、会津13市町村で、会津地方振興局が中心となり「会津地方課題解決連携推進会議」の中で、ライフル銃やスラック弾が撃てる射撃場を新たに会津方部管内に新たに整備する考えで検討を進めていると聞き及ぶが、規模と時期はいつ頃になるのか。</p> <p>ウ 特にクマ出没の主な対策として、獣道となっている河川敷の雑木等伐採・刈払いが有効と喜多方建設事務所に対して要望されているが、現状と見通しはどうか。</p>
			<p>2 町内会などと連携したまちづくりについて</p> <p>(1) 協働したまちなか環境整備の取組について</p> <p>ア 観光立市として町内会などとまちなかの環境整備や公園の管理などの整備を委託契約して協働のまちづくりを進めることはできないか。</p> <p>イ また、公園の管理業務を委託する団体については、法も整備され、小規模作業所など障がい者施設等で請け負うことが可能とされているが、市として同様の取組ができないか。</p> <p>(2) 市の配布物等の業務委託について</p> <p>ア 行政区長は、文書、広報等の配布を行政区長設置規則の職務として行っている。しかし、各行政区は行政区と町内会の役割がよく整理されず進められ、特に世帯数の多い町内会は行政区長経由で、町内会の組長が組内に配布している現状である。どのように受け止め</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>ているのか。</p> <p>イ 本来、行政区長は市長から委嘱され職務を行っている。 しかし、町内会などは地縁の団体であり、市が介入できない独立した自治会組織である。よって、町内会の組長が市からの配布物の配布を行う場合、他市の事例からも町内会と業務委託を行い実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 会計年度任用職員制度導入時に、行政区長の取扱いが、特別職非常勤職員から私人としての有償ボランティアに移行された。行政区長設置規則には、「市と市民との間の連絡等に関する行政事務の円滑な運営を図る」とし、重要な役割を担っている。移行時に詳細な説明はなかったと認識しているが、移行時の考え方と現状の在り方についてどうか。</p>
10	9	菊地とも子	<p>1 「誰一人取り残さない」社会の構築について</p> <p>(1) 児童虐待の現状と対策について 児童虐待に関する相談件数の過去3年間の推移とその対策について伺う。</p> <p>(2) オレンジリボン運動について オレンジリボン運動等の児童虐待防止の意識啓発についてどのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>(3) DV被害の現状と対策について DV被害による相談件数の過去3年間の推移とその対策について伺う。</p> <p>(4) DVシェルターの設置について 簡単な手続きで一時避難できるDVシェルターの設置について伺う。</p> <p>2 喜多方市のデジタル化の推進について</p> <p>(1) 行政手続きのデジタル化をどのように進めるのか伺う。</p> <p>(2) マイナンバーカードの現在の申請率と交付率について伺う。</p> <p>(3) マイナポータルの利活用についてどのように進めるのか伺う。</p> <p>3 喜多方市子育て世帯向け定住促進住宅整備事業について 住宅整備は計画通りに進んでいるのか、現在の進捗状況について伺う。</p>
11	2	小澤 誠	<p>1 来年度予算編成について 地方自治体の存在理由は、住民福祉の増進です。地域が豊かになるためには、「地域内経済循環」をつくること。つまり地域経済の主役である経済主体の地域内再投資力を高めることだと思います。 そこで、地域内経済循環の起動力として注目されている再生可能エネルギーと医療・福祉などの社会保障分野について、市ではどのような政策的・財政的支援を集中しようと考えていますか。その構想を示して下さい。</p> <p>2 市立図書館のあり方について 喜多方市立図書館は1972年に建てられたもので、当時は新しい時代の「文化の殿堂」と言われました。それから50年、今では施設も設備も古くなってしまいました。図書館も法や条例が求める将来にも耐えう</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>る施設・設備を備え、それを活用できるスタッフを充実しなければならないと思います。また、教育委員会は指定管理者への指導性（ガバナンス）を発揮しなければならないと思います。</p> <p>そこで、次の点についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 教育委員会は、喜多方市立図書館の50年の歴史をどのように総括していますか。</p> <p>(2) 教育委員会は、市の複合施設に入る予定の新しい図書館には何を求めたいと考えていますか。</p> <p>(3) 教育委員会は、現行の指定管理者制度をどのように評価していますか。</p>
12	7	渡部一樹	<p>1 県立高校の統廃合問題について</p> <p>(1) 旧県立喜多方商業高校跡地、喜多方東高校、耶麻農業高校に係る県との協議の状況について伺いたい。</p> <p>(2) 今後の市の対応方針について伺いたい。</p> <p>2 市街地でのクマ出没について</p> <p>(1) 市街地での出没の原因をどのように考えているのか伺いたい。</p> <p>(2) クマのエサとなる柿などのいわゆる未利用果樹の伐採費用の補助制度創設を求めるが見解を伺いたい。</p> <p>(3) 住民ぐるみの体制作りをどのように取り組んでいくのか見解を伺いたい。</p> <p>(4) 登校時間帯の交通規制の運用見直しについて県公安委員会へ要望すべきと考えるが見解を伺いたい。</p> <p>(5) 小中学校、保育施設、児童クラブなど関係機関との連携は十分であったか見解を伺いたい。</p> <p>(6) 鳥獣被害対策における専門職員の充実が必要と考えるが見解を伺いたい。</p>
13	10	小林時夫	<p>1 防災・減災対策について</p> <p>(1) 喜多方市総合防災訓練について</p> <p>ア 喜多方市総合防災訓練の検証について</p> <p>イ 今後の防災訓練のあり方について</p> <p>(2) 流域治水について</p> <p>本市の流域治水に対する考え方について</p> <p>(3) 自主防災組織について</p> <p>ア 自主防災組織の現状について</p> <p>イ 自主防災組織の推進策について</p> <p>(4) 避難施設の拡充について</p> <p>避難施設の現状と拡充策について</p> <p>(5) 避難計画の推進について</p> <p>個人の避難計画、マイタイムラインの推進策について</p> <p>2 通学路の安全対策について</p> <p>(1) 通学路のブロック塀対策について</p> <p>ア 通学路のブロック塀調査結果について</p> <p>イ ブロック塀対策の補助制度について</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>(2) ゾーン30の設置について</p> <p>ア ゾーン30の設置状況について</p> <p>イ ゾーン30の設置推進について</p>
14	5	上野利一郎	<p>1 除雪機械運行管理システムについて</p> <p>令和元年度の冬期間は、1964年の東京オリンピック開催年以来、56年ぶりに降雪量が極端に少なかった。除雪頻度が極端に少ない冬期間として、記憶にないくらいの暖冬であり、スキー場や一部の農作物への影響を及ぼしたことが確認されている。</p> <p>平成27年度より導入された除雪機械運行管理システムは5か年の契約期間が完了し、令和2年度から新たなシステムが運用される予定である。以前のシステムで課題となったものは何か、今回どのような部分が改善されたのかについて、以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 旧システム運用時の課題について</p> <p>ア 除雪実績データ端末（スマートフォン）の機器の課題について伺います。</p> <p>イ データのアップロードや集計作業の課題について伺います。</p> <p>ウ 除雪業務委託会社から、端末仕様やweb画面での操作性を含めたシステム全体に関してどのような意見や要望が寄せられていたのか伺います。</p> <p>(2) 新システムについて</p> <p>ア 旧システムから新システムに移行するにあたって、特に留意した点について伺います。</p> <p>イ 新システムの主な機能に関し、旧システムからの変更点について伺います。</p> <p>ウ 新システムの更新にあたり、会津若松市や他市町村等で、既に導入活用しているシステムも検討をされたのかどうか伺います。</p> <p>(3) 除雪の見える化について</p> <p>ア 旧システムで実現できなかった除雪車両稼働状況の公開機能について、実装されているのか伺います。</p> <p>イ 平成29年の決算特別委員会では、除雪車両稼働状況をインターネット上で公開した場合は苦情処理件数が急激に増加するデメリットがあるとの答弁を頂いたが、どのように検討されたのか伺います。</p> <p>2 画像投稿システムについて</p> <p>令和2年11月から告知された本市の画像投稿システムは、道路維持管理の推進を図る目的で稼働を開始した。道路損傷の状態を市民から報告してもらうことで、修繕までのリードタイムの短縮効果などが期待される。他の自治体でも同様のシステムが活用されているが、このシステムを使った市当局の業務内容や、他の所管課での利活用について以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 画像投稿から修繕完了までの流れについて</p> <p>ア 投稿内容の把握と現場調査、修繕費用の積算と施工実施、完了ま</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>での流れはどのように行われるのか伺います。</p> <p>イ 完了した場合は、報告者の報告リストに完了メッセージが送られるが、報告者への御礼はどのような形で表現すべきと考えているのか伺います。</p> <p>(2) 今後のシステムの維持と投稿画像の利活用について</p> <p>ア システムの構築にあたって当初予算は53万1千円であったが、その内容と次年度以降のシステムの維持費について伺います。</p> <p>イ 投稿情報の、その後の利活用について伺います。</p> <p>(3) システムの汎用性とその他の所管課での利活用について</p> <p>ア 同様のシステムを稼働させている須賀川市では、道路の穴や側溝、ガードレールの破損のほかに、防犯灯の不具合（蛍光灯の劣化）や公園遊具の破損も投稿対象としているが、本市でこれらの項目が除外された理由について伺います。</p> <p>イ スマートフォンアプリ「FixMyStreetJapan」 「まちもん」では、道路関係の破損のほかに、落書きや不法投棄などの地域や街の問題を解決する目的で開発されたとの説明があるが、建設課以外の所管（特に都市整備課や環境課、生活防災課）での利活用について当局の考えを伺います。</p> <p>3 ガバメントクラウドファンディング事業について</p> <p>インターネットを活用し、ふるさと納税制度を活用した方法で令和2年10月から、ガバメントクラウドファンディングが実施されている。プロジェクトは「山都三大そばまつり事業」である。今回のガバメントクラウドファンディングの目標金額までは、現在まだ未達の状態ではあるが、今回のファンディング事業について、以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 今回の事業計画から実施までの経緯について伺います。</p> <p>(2) 「山都三大そばまつり事業」の全体事業費と、目標額を100万円に設定した理由について伺います。</p> <p>(3) そばや日本酒の返礼品の総額は、目標額に対してどの程度の金額になるのか伺います。</p>
15	8	蛭川靖弘	<p>1 市民活動について</p> <p>本市では、喜多方市総合計画、大綱4 自然との共生と元気なふるさとづくり第1節において、協働・地域コミュニティ・市民活動について目標を提示し、現状と課題について分析を行い、指標を掲げてその目標の達成のために多くの事業を行っています。</p> <p>なかでも市民活動については、平成10年に特定非営利活動促進法が施行され、全国にNPO法人が数多く生まれたこと、平成20年に公益法人制度改革関連3法が施行され、一般社団法人、一般財団法人が数多く生まれ、市民が主体的に公益活動に関わることが可能になり、参画しやすくなったことを受けて、多くの自治体で公益活動の役割分担が進んでいます。</p> <p>一方で、自主的に公益活動を行う市民活動にはいくつもの障壁や課題があり、特にNPO法人は様々な理由で解散する法人が増え、福島県で</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>は平成29年頃からその数は停滞しつつあるのが現状です。          そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 本市がうたう市民活動の定義とは何なのか伺う。</p> <p>(2) 市民と市の協働によるまちづくりとは何なのか伺う。また、これまでの具体的な事例について伺う。</p> <p>(3) 市と市民あるいは市民同士などの協働の取組の意識の醸成を図るために行っている事業について伺う。また、これまでの成果について伺う。</p> <p>(4) これまでにボランティア団体やNPO法人などと連携し、市民活動の推進を図った事例について伺う。</p> <p>(5) 全国や福島県のNPO法人や一般社団法人の設立と解散の状況を考えると、大綱4の第1節で指標としているNPO法人組織数の目標値は現実にそぐわないものになっていると思うが、市の認識を伺う。</p> <p>(6) 県や先進自治体では市民と市の協働を目標とすることから、公益を担う市民活動団体の自立と、公益活動についての自治体との役割分担に方向転換を進めている事例があるが、このことについての本市の見解を伺う。</p>
16	1	矢吹哲哉	<p>1 コロナ感染症対策の現状と今後の強化点について</p> <p>(1) 第3波対策の現状と今後の強化点について</p> <p>ア PCR検査の本市・県内の状況と強化点について伺う。</p> <p>イ 無症状者への対策について伺う。</p> <p>ウ 軽症者、無症状者の保護・隔離の体制充実について伺う。</p> <p>(2) 経済対策の現状と今後の強化点について</p> <p>ア 中小商工業者の現状について伺う。</p> <p>イ これまでの対策の効果について伺う。</p> <p>ウ 年末、年度末への対策の強化点は何か伺う。</p> <p>(3) 市民税、国保税の減免申請について</p> <p>ア 今年度の申請件数と金額、昨年度との比較について伺う。</p> <p>イ 来年度も特別措置(30%収入減に対する減免)など継続すべきではないか。市の考えを伺う。</p> <p>(4) 緊急小口資金貸付の現状と今後の対応について</p> <p>ア 今年度の貸付件数と金額、昨年度との比較について伺う。</p> <p>イ 来年度も今年度同様に継続すべきではないか。市の考えを伺う。</p> <p>(5) 学童保育(放課後児童クラブ)の3密対策について</p> <p>ア 現在の3密対策について伺う。</p> <p>イ 小中学校の20人程度学級のように施設面積の抜本的拡充が必要。市の考えを伺う。</p> <p>ウ とりわけ塩川児童クラブはすぐ改善すべきではないか。市の考えを伺う。</p> <p>(6) 今年度のコロナ対策予算の財源について</p> <p>ア コロナ対策の今年度のこれまでの予算額とその財源内訳を伺う。</p> <p>イ 今後の対策に対して財源確保をどのように考えているのか。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 来年度の予算編成への要望について</p> <p>(1) コロナ対策枠を設けるべきではないか。考えを伺う。</p> <p>(2) 歳入、歳出の見通しについて</p> <p>ア 歳入の見通しについて伺う。</p> <p>イ 歳出の見通しについて伺う。</p> <p>ウ なぜ、来年度も10%のマイナス枠なのか。</p> <p>(3) なぜ、中期財政計画を発表できないのか</p> <p>ア 来年度以降、大型建設事業計画はどうするのか。</p> <p>イ 凍結、縮小を検討すべきと考えるが、抜本的に見直す考えはあるのか。</p> <p>ウ とりわけ塩川駅周辺整備は凍結すべきと考えるが、どうするのか伺う。</p>
17	13	渡部 勇一	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 喜多方地方定住自立圏共生ビジョン協議会の本年度の実施計画と答申について</p> <p>ア 答申をどのように受け止めたか伺います。</p> <p>イ 実施に向けた具体的事業・施策について伺います。</p> <p>(2) 県立喜多方東高校跡地利用について</p> <p>ア 喜多方高校と喜多方東高校との統合計画の進捗状況について伺います。</p> <p>イ 県の跡地利用計画の考え方・方針について伺います。</p> <p>ウ 市としての考え方・方針について伺います。</p>
18	15	田中 雅人	<p>1 新型コロナウイルス感染症の市の対応について</p> <p>第2波から第3波への感染が全国的に心配され、日常生活への影響が深刻となっている。</p> <p>(1) 本市における6月以降、現在までの対応と教訓、今後の取組について伺う。</p> <p>(2) 本市における6月以降、現在までのPCR検査等の検査数と結果について伺う。</p> <p>(3) 本市の雇用状況を伺う。</p> <p>ア コロナ解雇の現況と市の対策について伺う。</p> <p>イ 本市の一年間の有効求人倍率を伺う。</p> <p>ウ 本市高校生の就職希望者の内定率と内定状況について伺う。</p> <p>2 駒形地区基盤（農地）整備事業に関連して</p> <p>平成19年度からスタートした駒形地区基盤整備事業は工区を3地区に分け、工事期間は14年間、現在最終時期に差し掛かり、市道の整備も重要な課題となっている。駒形第一地区、第二地区、第三地区の市道整備、舗装計画について地区ごとに伺う。</p> <p>3 サイクリング道路の除草について</p> <p>高校生からサイクリング道路に草が繁茂し、通行の妨げになっているとの苦情があるが本市の対応を伺う。</p> <p>(1) サイクリングロードの管理状況を伺う。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>4 飯豊スギの育成と活用について 本市を代表する樹木として飯豊スギが挙げられ、林業活性化の点でも県産材としての利活用は重要です。</p> <p>(1) 本市の飯豊スギの山林規模と生産量を伺う。</p> <p>(2) 予定される人づくり・交流拠点複合施設への利活用の範囲と活用規模を伺う。</p>
19	11	坂内鉄次	<p>1 教育環境の整備について</p> <p>(1) いじめの実態と対策について 2019年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査における本市の状況と対策を伺う。</p> <p>(2) 学校図書室の現状と課題について ア 学校司書配置事業の評価と課題を伺う。 イ 市立図書館及び地区公民館図書室との連携を伺う。</p> <p>(3) 通学路の安全対策について ア 有害獣の通学路への出没対策を伺う。 イ 声掛けなど、事案の発生状況と連れ去り対策を伺う。 ウ 交通事故の事案発生の現状と対策を伺う。 エ ブロック塀など危険個所の点検と対策を伺う。</p> <p>(4) 校舎における洋式トイレの整備拡充について 洋式トイレの設置状況と今後の整備を伺う。</p> <p>(5) 学校給食事業について ア 学校給食費負担軽減事業の評価と今後の取組を伺う。 イ 学校給食費の未納の状況と対策を伺う。 ウ 公会計化の導入について伺う。</p> <p>(6) コミュニティ・スクール（地域運営学校）及び特認校制度について ア 地域ぐるみで学校を支援するコミュニティ・スクール（地域運営学校）導入の考えを伺う。 イ 通学区域が決まった指定校以外の学校に通うことができる特認校制度の活用を伺う。</p> <p>2 社会教育行政について</p> <p>(1) 教育委員会事務分掌の変更について ア 生涯学習課、文化課、中央公民館における事務事業の移管の理由を伺う。 イ 中央公民館の位置づけと喜多方地区公民館の設置について伺う。</p> <p>(2) 地区公民館の体制強化について ア 会計年度任用職員制度における館長の選任について伺う。 イ 運営審議会の設置について伺う。 ウ 地域コミュニティ（地域社会）の強化の中核的な位置づけについて伺う。</p>